リフロー

InDesignからの書き出しを前提とした制作ツールとフォルダ群

C:\Users\tomoki.kawakubo\050

にて

以下、内容説明

## 1　書誌データ

### ■場所

［02\_arrange］

### ■手順

・［01\_作成用\_書誌.xlsx］を使用。

→　支給の書誌データ（あれば）を元に、リストに落とし込み

（内容） ・基本情報

・右開き／左開き

・目次の有無

・

・csv保存で［03\_materials］に配置。

## 2　InDesign

### ■場所

［00\_素材］にて

### ■前提

・章扉

InDesignデータの章扉がテキストベースであるなら、イキで行くのが良いようだ。

ハイパーリンクのiD自動付与等の都合がある。

→　しかるのち、html上で画像に差し替えるのもよし。

→　版元要望次第か？

→　技術的にも未確認

（画像Altタグに章名等のテキストを乗せ換える？）

### ■作業手順

①　ノンブルや柱のテキストボックスを削除する。

・マスターページでオーバーライドとかする前に。

（マスターページでそれが全て可能かはわからない）

・本文ページを見て、同、削除

②　目次と本体を見て、構造（階層）を判断

③　必要なスタイルを付ける（目次\_章・目次\_節など、階層によって別名に）

・h1\_章タイトル

・h2\_節タイトル

・h3\_項タイトル

・h4\_目タイトル

・脚注

・枠

・段落字下げ（左インデント）

イデ1

　 イデ2

　 イデ3

・ぶら下がり

ブラ1

　 ブラ2

　 ブラ3

→　例：イデ1ブラ1

・下揃え

　で、暫定（→　下記のタグ変換もこれ前提とする）

注：スタイル付けをこぼすと、後が面倒

**・デザイン的に「第〇章」などが別テキストボックスに分かれている場合、テキストをコピペして一緒にするが良！**

④　目次のファイル内リンクを作成

・ノンブルのついた目次行のみ、以下リンクを作成。

→ ・本文テキストを選択し、パネル［ハイパーリンク］－［新規ハイパーリンク先］でアンカー登録、

・目次テキストを選択し、メニュー［書式］（パネル［ハイパーリンク］でも可）

［ハイパーリンクと相互参照］、でリンクを作成（テキスト／ページ）

・目次行のノンブル記載を削除

**・このリンクにヌケがあると、後でややこしく全部やり直しになるので、要注意、再チェック！！**

**追加！**

アキ行を、html書き出し時に拾われるアキ行にする

改行だけの行が、html出力されないので、検索置換で空白スペース入りの改行とする。

　→　^\r（正規表現にチェック入れ）　→　（空白スペース）\r

　　　（目視しかないか）

⑤　画像作成と、画像ページ作成

・支給PDF使用か、無ければInDesignからPDF作成し、Photoshpで開く。

・画像とするべきページを選択し、版型サイズで一律のサイズで抽出。（暫定で300dpi）

・photoshop抽出時の保存形式がpsd、ノンブルがファイル名になっている

→　例：書き出し用-120.psd

→　jpg、72dpiに。

→　1次リネームで、頭に新規連番3桁、末尾はノンブルに。

→　2次リネームで、「i-」付のアタマ連番だけ残し。例：i-005.jpg

・画像の中のノンブルは確認用に残す。　→　後で削除、画像リンク更新。

要注意！

・章・節レベルの見出しも画像でよいが、版面にテキストを残すようにする。

→　ミスで残せなかった場合は、目次から取ってくる。

→　（疑問）あるいはテキストベースで進行、調整html時に画像ページとする？

→　画像タグが入らない

・リネームjpg画像を、InDesign該当ページに貼り込み

画像枠を作成、必要ページに配置、［配置］で画像選択してペースト

→　①　画像のファイル名を目安に貼り込み、旧ページのオブジェクト除去

→　②　画像フォルダを移動、リンクエラーを利用し、②画像の連番目安に差し替え。

⑥　htmlで書き出し

［ファイル］－［書き出し］

→　ファイル名を、［調整.html］とし、［02\_arrange］に置く。

→　バックアップに、オリジナルをコピーして同階層に置いておく。

|  |  |
| --- | --- |
| グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション  自動的に生成された説明  **→　ローカルオーバーライドを保持**  **のチェックを外したほうがシンプルかと思える** | InDesignのHTML書き出しオプションの「CSSを生成」の下にある「ローカルオーバーライドを保持」のチェックボックスは、書き出し時にCSSがどのように生成されるかに影響します。以下にその違いを説明します。  **ローカルオーバーライドを保持 （チェックを入れる場合）**   * **効果:** 個々の段落や文字に適用されたスタイルオーバーライド（手動で行ったスタイル変更）がCSSとして保存されます。 * **例:** 例えば、ある段落にスタイルが適用されていて、その段落の一部の文字色を手動で変更した場合、その変更が反映されたCSSが生成され、HTMLでもその変更が適用されます。 * **結果:** より細かいスタイリングがHTMLに反映されますが、CSSが複雑になる可能性があります。   **ローカルオーバーライドを保持 （チェックを外す場合）**   * **効果:** 手動で行ったスタイル変更（オーバーライド）は無視され、InDesignで定義されたスタイルシートのみがCSSとして保存されます。 * **例:** 先ほどと同じ例で、手動で文字色を変更していても、CSSにはその変更が含まれず、定義されたスタイルシートに基づいたスタイルが適用されます。 * **結果:** CSSがシンプルになり、一貫性が保たれますが、手動の変更が反映されません。   このオプションをどう設定するかは、書き出し後のHTMLやCSSの管理のしやすさと、デザインの正確な反映をどの程度重視するかによって決まります。 |

### ▼未解決／未処理

go →　InDesign上で検索・テキストに縦中横の処置？（出力してタグ（半角英数字）が付く前に）

段落設定で［自動縦中横設定］（数値）を使っている　→　<span class="\_idGenCharOverride-1">が付く

段落設定で［縦中横設定］にチェックを入れていたら　→　クラスは付かない

文字選択で［縦中横］にチェックを入れていたら　→　<span class="\_idGenCharOverride-1">が付く

NG →　html上で、正規表現で英数字の検索・置換？（あるいはタグ抜きテキストで）

未 ・テキストボックスまたはスタイルによって英数字の回転をしている。そこはどうするか？

未 著者紹介ページの処理をどうするか

未 編集／スタッフのページを　“

未 奥付ページの処理をどうするか  
p-colophone.xhtml

現状、まだopfにi-colophone.jpgが入っている（p-colophone.xhtmlには読み込んでいない）

## 3　Html調整

### ■場所

［02\_arrange］あるいは［03\_materials］

03のデータは確定としてスクリプトの対象となるため、  
テスト段階の現在（08/22）、02で［調整.html］で調整をして03に移す、ということをしている。

手順がFIXしてきたら、03でtarget.htmlの作業としてよいことになるかどうか。

### ■作業手順

▼事前：目次部分を本体htmlからカット

→　［02\_arrange］の［目次調整台.txt］にペースト

#### ▼html本体

・基本的にvisual studio codeを使用（した）

・テキストベースの章扉など、テキストボックスが散在するページのテキスト整形

　（テキストが細切れ）

→　アンカーが入っていたりするので、そこにテキストを寄せる。

・タグの調整・変換を行う

・調整変換

・テーブル変換

・最適化

**＜調整変換・削除リスト＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分類 | 検索 | 置換／削除 |
| カラ | <div class="\_idGenObjectLayout-1">  <div id="\_idContainer0.." class="基本グラフィックフレーム">  </div>  </div> | 削除 |
|  | <div class="\_idGenObjectLayout-1">  <div id="\_idContainer..." class="基本テキストフレーム \_idGenStoryDirection-1">  </div>  </div> | 削除 |
|  | <div class="\_idGenObjectLayout-1">  <div id="\_idContainer...">  <div id="\_idContainer..." class="基本グラフィックフレーム">  </div>  <div id="\_idContainer..." class="基本グラフィックフレーム">  </div>  </div>  </div> | 削除 |
|  | **<**div class="\_idGenObjectLayout-1"**>**  **<**div class="基本グラフィックフレーム"**>**  **</**div**>**  **</**div**>** | 削除 |
|  | id="\_idContainer..." | 上と関連 |
| カラ | <span class="\_idGenCharOverride-1"> </span>  連続の半角英数字（tcy該当）の後ろに存在する | 削除 |
| 本文 | <p class="本文">  あるいは  <p class="基本段落">  とかバリエーションアリ | <p> |
|  | <span class="ハイパーリンク">(.\*?)</span>  目次内に、何種類か同じ場所に少し違ったタグで発生？？？ | $1 |
|  | <span class="ハイパーリンク \_idGenCharOverride-1"></span> | 削除 |
|  | <span class="…"></span> | 削除　文字スタイルで、空 |
| 見出し | <span class="見出し">(.\*?)</span> | $1 |
|  | 基本テキストフレーム | Classに含まれている。削除 |
|  | <p class="基本段落"> | <p> |
| 画像ページ  （vscodeのemmet使用） | <div class="\_idGenObjectLayout-1">              <div id="\_idContainer104">                  <img class="\_idGenObjectAttribute-1" src="書き出し用2-web-resources/image/i-017.jpg" alt="" />              </div>          </div>  Emmetの［タグの削除］＋［ラップ変換］を使用する | <div class="\_idGenObjectLayout-1">              <p><img class="\_idGenObjectAttribute-1" src="書き出し用2-web-resources/image/i-015.jpg" alt="" /></p>          </div> |
| ツール不完全 | </div>  </body>  </html> | target.htmlから、左記を削除。 （スクリプトの不徹底により） |
| 一行アケ | <p><br /></p>  <h タグの前後にも。（サンプルから） |  |
|  | <rt class="\_idGenRuby-1"> | <rt> |
|  | <img class="\_idGenObjectAttribute-2" src="歯\_調整-web-resources/image/i-010.jpg" alt="" />  （例）？？目次内の記述？？ | <img src="../image/i-002.jpg" alt="" /> |
|  |  |  |
|  |  |  |

**＜テーブル変換＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 元タグ／クラス名 | epubタグ | 事例 |
| **<**p class="h1\_章タイトル"**>●●●</**p**>** |  |  |
| **<**p class="h2\_節タイトル"**>**(.\*?)</p>**</**p**>** | <div class="h2">  <h2>$1</h2>  </div>  （クラス名は暫定）→　差し替え例： m-left-0em50 |  |
| **<**p class="h3\_項タイトル"**>●●●</**p**>** |  |  |
| **<**p class="h4\_目タイトル"**>●●●</**p**>** |  |  |
|  |  |  |
| 注釈 <p class="脚注">(.\*?)</p> | 然るべきインデントのスタイルへ変更  例：<div class="start-3em h-indent-3em"> | **<**p class="注釈"**>　→　？？？**  **<**p class="ref"**>** |
| ルビ | <rt class="\_idGenRuby-."> | <rt> |
|  | <rt class="\_idGenRuby-2 見出し"> | <rt> |
|  | <span class="\_idGenCharOverride-."> | <span class="tcy"> |
|  | <ruby class="見出し"> | <ruby> |
| 縦中横英数字3文字 | <span class="\_idGenCharOverride-1">(.)</span><span class="\_idGenCharOverride-1">(.)</span><span class="\_idGenCharOverride-1">(.)</span> | <span class="tcy">$1$2$3</span> |
| 縦中横英数字２文字 | <span class="\_idGenCharOverride-1">(..)</span> | <span class="tcy">$1</span> |
| 見出し中の縦中横 | <span class="見出し \_idGenCharOverride-.">(.\*?)</span> | <span class="tcy">$1</span> |
| <span class="\_idGenCharOverride-1"> | <span class="tcy">  →　この後、一文字だった場合は全角変換か？ |  |
| <p>　</p> | <p><br /></p> |  |
| 画像タグ | <img class="\_idGenObjectAttribute-1" src="書き出し用2-web-resources/image/(.\*?)" alt="" /> | <img src="../image/$1" alt="" class="fit" /> |
|  |  |  |
|  |  |  |

#### ＜最適化＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 縦中横が半角英数字１文字だったら、全角にしてからtcyタグを削除 | <span class="tcy">(.)</span>  ヒットしたら、全角にしてから置換 | $1 |
| カラ | &#9; | 削除 |
| カラ | class="基本段落 \_idGenParaOverride-1" | 削除 |
|  | <div id="\_idContainer..." class="基本グラフィックフレーム">  </div> | 削除 |
|  |  |  |
|  |  |  |

▼調整状態をブラウジング確認（縦書き）

・セッティング：調整中のhtmlのヘッダーに、cssスタイルを加える

**<**link href="style/style-standard.css" rel="stylesheet" type="text/css" **/>**

　 置き場所：暫定

読み込み：暫定ファイル（オリジナルのコピー；縦書き）

書き出し時のスタイル参照状態から、タグ変換によりepub用スタイルを参照にさし変わっていく想定。

・ブラウジング方法：

Vscodeのプレビューを開き、その画面の右上端のメニューアイコンから［ブラウザーで開く］を選択

→　標準のブラウザ、縦書きで表示される

**ダメ！！**

**Target.html（本体）のリンク先記述**

<a id="toc-008"><h1>第２章　良い歯医者さんを見抜くコツ</h1></a>

は、NG.

<a id="toc-008"></a>が離れてはいけない。  
スクリプトが、<a id="toc-008"></a>で検索置換（ページへの組み込み）をしているため。

↓

OK

<a id="toc-008"></a><h1>第２章　良い歯医者さんを見抜くコツ</h1>

（リンク元のaタグの開始閉じは、くっついてる必要なし）

・章扉などが画像である場合

→　文字

→　画像　の場合

→　InDesign時点で、章番号・章タイトルはテキストボックスで残す

→　段落スタイルも不可する

Html調整段階では、

→　hタグ等を付加する

→　画像のタグの中に、<! -- -->で囲って残しておく

#### 要注意！！

target.htmlの終りに、ページがあるか、カラページをセットする必要がある。

さもないと、idをページに紐づける処理の最後がコケる。

（リンク先が、連番のxhtmlでなく、「tareget.html」のままになる）

→　アキページ的なものを残しておくにしても、xhtmlは生成され、opfに記録される。

　　何か手を打つ必要がある。

↓

**</body></html>があったら、の何か動作を加える。**

**↓**

**09/19、2週間ぶりに再会してGPTに振ったら、一発目に出してきた修正スクリプトがOK**

**</body></html>は、従来どおり、あらかじめ削除**

#### 懸案事項

<span class="tcy">[0-9]</span>

<span class="tcy">[０-９]</span>

<span class="tcy">[a-z]</span>

<span class="tcy">[ａ-ｚ]</span>

<span class="tcy">[Ａ-Ｚ]</span>

[あ-ん][a-z][あ-ん]

[あ-ん][0-9][あ-ん]

音引き、－

ゼロマルのチェック

ブロック画像か、単ページ画像か

fitにするか、classなし（そのまま表示）にするか

どこで判断をするか、マーキングするか

Target.html時点で、底本PDFとの比較を行うか

サンプルを見ると、

<p><img src="../image/i-002-01.jpg" alt="" class="fit" /></p>

・スクリプトでは、xhtml分割を、「<div class="\_idGen[^"]\*">」（例：<div class="\_idGenObjectLayout-1">）を

目印に分割（配列化）している。

テキストの調整中、わかりやすいように、日本語かそれらしい文字かタグに置き換えたい。

未解決　事例

<p class="枠囲み">・歯医者さんの削り方のエラー</p>

<p class="枠囲み">・歯型を取ったときのエラー</p>

<p class="枠囲み">・石こうという、模型をつくる材料を歯型に流すときのエラー</p>

<p class="枠囲み">・模型上で詰め物、被せ物を製作するときのエラー</p>

<p class="枠囲み">・歯にセットするときのエラー</p>

↓

<div class="add-radius">

<div class="h-indent-1em">

<p>・歯医者さんの削り方のエラー</p>

<p>・歯型を取ったときのエラー</p>

<p>・石こうという、模型をつくる材料を歯型に流すときのエラー</p>

<p>・模型上で詰め物、被せ物を製作するときのエラー</p>

<p>・歯にセットするときのエラー</p>

</div>

</div>

▼目次を作る

・htmlの変換

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分類 | 検索 | 置換／削除 |
| 目次 | <a href="target\.html#\_idTextAnchor(...)"> | <a href="target.html#toc-$1"> |
| 目次 （アンカー） | <a id="\_idTextAnchor(...)"></a> | <a id="toc-$1"></a> |

・目次部分を本体htmlからカット

→　［02\_arrange］の［目次調整台.txt］にペースト

→　それを元に、［03\_materials］にgo\_toc.xhtmlとgo\_navigation.xhtmlの２つの目次系ファイルを用意する

［目次調整台\_toc用.txt］

・本文内に表示される目次（p-toc.xhtml）となる、［03\_materials］内［go\_toc.xhtml］を作る作業テキスト

・目次行だけ残し、他はカットする

|  |  |
| --- | --- |
| <p class="目次"><a (.\*?)</p> | <div class="m-right-1em">  <p><a $1</p>\n</div> |
| <p class="目次">(.\*?)</p> | <div class="start-5em60">  <div class="gfont font-0em90">  <p>$1</p>  </div>  </div> |
| <p class="目次"> | <p> |
| この変換は、かなり事例的 |  |

・できたデータを、［03\_materials］内［go\_toc.xhtml］にコピペ。

［目次調整台\_navigaton用.txt］

・機能目次として表示される［navigation-documents.xhtml］となる［03\_materials］内［go\_navigation.xhtml］を

作る作業テキスト

・目次行だけ残し、他はカットする

・変換

|  |  |
| --- | --- |
| <p class="目次"><a href="target.html#toc-(...)">(.\*?)</a></p> | <li><a href="target.html#toc-$1">$2</a></li> |
| <p class="目次">(.\*?)</p> | <li>$1</li> |

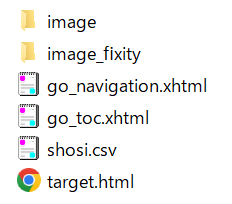
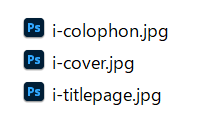
・このファイルに、spanやtcyのスタイルタグは不要なのでは？

→　リンクが貼られていない目次行は不要！

・できたデータを、［03\_materials］内［go\_navigation.xhtml］にコピペ。

## 4　整理／変換

### ■場所

［03\_materials］

・［image］にはページで使われた画像、［image\_fixity］は、必須の前付／後付画像を置く。

　（自動処理のされ方が違うため）

### ■作業手順

### ■TIPS

・InDesign書き出し直後のリソースファイルの配置階層を使えば、うまくすればブラウザで縦書き検証ができる！

### ■書籍として気を付けること

・熟語ルビとなっているか（原本データがそうでない肩付きルビの場合がある）モノルビかグループルビか。指定は。

## ５　データ比較（レビュー）

2024/10/22

「歯科医」

・行頭２文字アキがあった。

・style boxがかかっていて、字下げがない箇所

・コラム内にh5。前後にアキ行がなく、標準の明朝に見える。

h2、h3はどうしたのだっけ

<h3 class="start-1em h-indent-2em bold">　だった。

<h4 class="bold">

・インライン画像

サンプルは、

<body class="p-image">

<div class="main">

<p><img src="../image/i-023-01.jpg" alt="" class="fit" /></p>

</div>

</body>

・<p>は段落を表すブロック要素なので、ブラウザはこのタグを通常テキストの段落として扱います。したがって、画像は段落の一部としてレイアウトされます。

・class="fit"が設定されています。これはCSSで画像のサイズやレイアウトを調整するためのスタイルが適用されている

・特別なスタイル指定がない限り、画像はそのまま表示されます。

・サンプルは、すべて　class="fit"　を入れている。

例（imagすべて）：<p><img src="../image/i-002-01.jpg" alt="" class="fit" /></p>

現在、

<body class="p-image">

<div class="main">

<div>

<img src="../image/i-011.jpg" alt="" />

</div>

</div>

</body>

・カバーデータのページ

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>

<!DOCTYPE html>

<html

xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml"

xmlns:epub="http://www.idpf.org/2007/ops"

xml:lang="ja"

>

<head>

<meta charset="UTF-8"/>

<title>良い歯科治療になるかどうか？はあなた次第です!!</title>

<link rel="stylesheet" type="text/css" href="../style/fixed-layout-jp.css"/>

<meta name="viewport" content="width=1072, height=1575"/>

</head>

<body epub:type="cover" class="p-cover">

<div class="main">

<svg xmlns="http://www.w3.org/2000/svg" version="1.1"

xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"

width="100%" height="100%" viewBox="0 0 1072 1575">

<image width="1072" height="1575" xlink:href="../image/cover.jpg"/>

</svg>

</div>

</body>

</html>

・画像ページのノンブル抜き。

・傍点のチェック

<span class="em-dot">

・目次の「目次・Contents・・」等の文言

・チェック　太字とゴシック・明朝の組み合わせ具合

・InDesignのスタイル名残り

・brn（bとrとn）で<br />に変換できる（VS）

「スニペット」で設定してある。

印字位置によって、他拡張とバッティングする。その場合、位置を違えて印字しドラッグ要。

・アキ行のヌケが目立つ。Htmlの元との比較要。

→　空白スペース入りの改行がhtml出力される。

→　アキ行を明示するしかない。

　 →　^\r（正規表現にチェック入れ）　→　（空白スペース）\r

　　（目視しかないか）

・見出し系の行の折り返し、イキ、改行消し

## 変換テーブル

## ほか

・1024 1か月触れず、最初からマニュアル参照しつつの再作成。

（画像は前回作成済みを使用）

html書き出しまで、約７時間強かと思われる。